

踐

セン

13画
口 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸

はわる

なりたち 旧字体は踐。少ない、小さいの意味の「足」との会意形声字。小足で歩くという意味の字で、「地面をふみつける」ことを表した字。足で「ふむ」こと。転じて、「ふみ行う」こと。

いみじゆくこ

▼ふむ。ふみ行う。
実践：実際にふみ行うこと。
実行：用い言うだけでなく実践することが大切。
▼位につく。
踐祚(せんそん)：天皇の位を受け継ぐこと。



踐踏

踏

トウ
ふむ・ふまえ

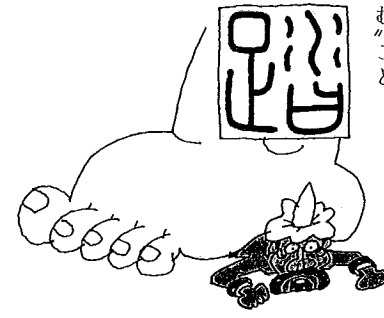
15画
口 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸

右へはらう

なりたち 水の流れるように途切れることなく曰(い)うという意味の「香(ト)」と足との会意形声字。トントんと間断なく足をふみならすことを表した字。「足ふみする」こと。「ふむ」こと。

いみじゆくこ

▼あしぶみする。ふむ。
踏査：実際にその土地に行って調査すること。
踏破：長い距離や歩きにくい土地を、歩き抜くこと。
用例 千キロの道のりを踏破した。
舞踏：舞いおどること。おどり。
未踏：まだ誰も足を踏み入れていないこと。
踏の秘境。
雑踏：人ごみ。大勢の人が行きかかって、にぎやかなこと。
瀕踏：川を渡る時、深さを試すために足で瀕を踏んでみる。何かをする前にちよつと試してみることに。
▼そのまま受けつぐ。
踏襲：それまでのやり方をそのまま受けつぐこと。



踊

ヨウ
おどる・おど

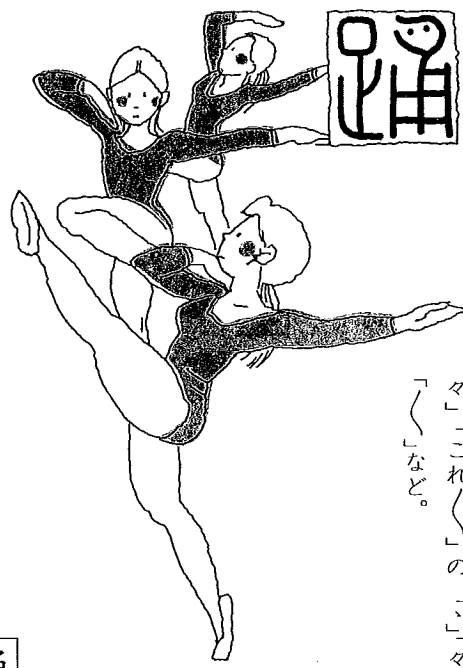
14画
尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸

はわる

なりたち まるくかこむ意味の「足」と「踊」の会意形声字。まるくかこんで「おどる」ことを表した字。「輪」になつて「おどる」こと。「おどり」。

いみじゆくこ

▼おどる。
舞踊：まい。おどり。例 日本舞踊
盆踊り：お盆に地域の住民が集まつてする踊り。
踊り場：踊りのための場所
② 階段の途中にある広い場所。
踊り子：踊りをおどる少女。
踊り字：同じ字を重ねて書く時に使う字。「かゝる」「人々」「これ〜」の「々」など。



距

キョ
きよ

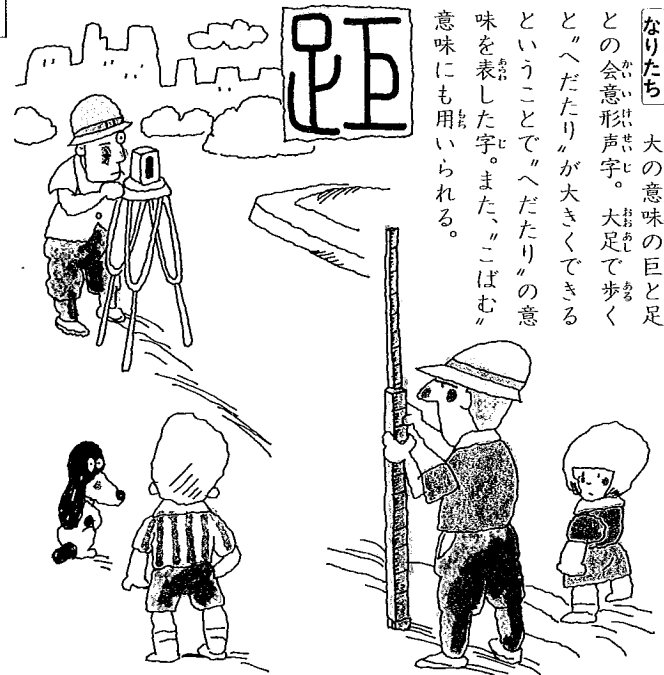
12画
口 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸

右へはらう

なりたち 大の意味の「巨」と「足」の会意形声字。大足で歩くこと「へだたり」が大きくできるということ。「へだたり」の意味を表した字。また、「こばむ」意味にも用いられる。

いみじゆくこ

▼へだたり。
距離：ものもとの、へだたり。二つの場所の間の長さ。用例 家から駅までの距離を測る。
こばむ。



踊距